

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【公表番号】特表2000-517231(P2000-517231A)
【公表日】平成12年12月26日(2000.12.26)
【出願番号】特願平10-512848
【国際特許分類第7版】
A 6 1 B 3/16
【F I】
A 6 1 B 3/16

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月2日(2004.9.2)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書



1. 提出日 平成16年9月2日
2. あて先 特許庁長官 小川 洋 殿
3. 事件の表示
出願番号 平成10年特許願第512848号
4. 補正をする者
住所又は居所 アメリカ合衆国, 15232, ペンシルベニア, ピッツ
バーグ, #102, エルマストリート, 5709
氏名又は名称 アブリュー・マルシオ・マルク・オウレリオ・マーチン
5. 代理人
住所又は居所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目2番5号
氏名又は名称 (8177) 弁理士 大川 宏
電話番号 (052) 583-9720



手続補正1

補正対象書類名 特許請求の範囲

補正の内容

特許請求の範囲

1. 眼圧を測定する装置であって、
患者の角膜上に位置決めするのに適した形状にされた接触構造体と、
該接触構造体内に配置され、該接触構造体上に引き出された圧力に応答して圧力を示す出力信号を提供する変換手段であって、瞼を閉じている間瞼によって変換手段の滑動と圧迫により生ずる圧力に応答する変換手段と、
から成ることを特徴とする測定装置。
2. 眼に関連した瞼の閉鎖中に瞼による圧力感応体の滑動及び圧迫により生ずる圧力に応答して圧力変換体を角膜の上に載置する工程と、
瞼の閉鎖中における瞼による前記圧力変換体の滑動及び圧迫により該変換体を駆動する駆動工程と、
から成ることを特徴とする圧力検出方法。

特 許 庁

3. 眼圧を検出する接触装置であって、

患者の角膜上に位置決めするのに適した形状にされた接触構造体と、

角膜内に配置され、それに作用する圧力に応答して該圧力を示す出力信号を提供する変換体であって、圧力によって変動する共鳴周波数を有する受動型の変換体と、

から成ることを特徴とする接触装置。

4. 内圧を検出する装置で、

患者の身体の一部に位置決めされるのに適した形状の接触構造体と、

該接触構造体内に配置され、これに加わる圧力に応答して圧力を示す出力信号を発生する変換体で、圧力に応じて変動する共鳴周波数を有する受動型の変換体と、

から成ることを特徴とする検出装置。

5. 緑内障を早期に検出する方法であって、

眼内の圧力を急速にかつ人工的に増加させる工程と、

眼内に生ずる物理的及び化学的変化を識別している間に、各増加するレベルの圧力に応じて流体内の成分または目の組織の蓄積を監視するとともに、流体の透明度または眼の組織の変更を監視することにより、眼の圧力を同時に測定する工程と、

から成ることを特徴とする検出方法。

6. 前記組織の一つはグルタミン酸塩である請求の範囲第5項記載の検出方法。